

# 新たなコミュニティ、 これからの中山間地域について ～ 地域づくりの取組例と小さな拠点形成について～

島根県中山間地域研究センター  
地域研究スタッフ 研究員 東 良太

1

## ○ 本日の流れ

---

1. 鳥取市・旧河原町の人口構成
2. 小さな拠点づくりについて
3. その他資料の説明
4. 質疑応答

2



# 5歳刻み人口一覽

国勢調査における人口一覽(平成28年6月調査現在)

市町村名

鳥取市旧河原町

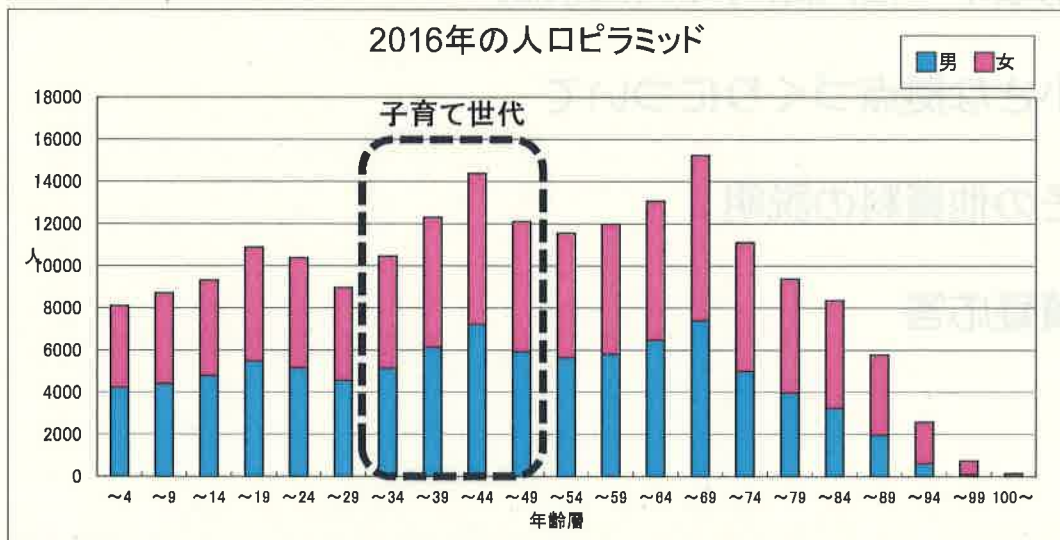
地区名		~4	~9	~14	~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	~54	~59	~64	~69	~74	~79	~84	~89	90~	計
鳥取市全体	男	4,268	4,440	4,574	4,780	4,752	4,610	5,623	6,337	6,743	5,883	5,602	6,090	6,945	7,642	4,318	3,726	3,068	1,868	813	92,082
	女	4,010	4,168	4,413	4,522	4,346	4,595	5,412	5,995	6,614	5,882	5,837	6,365	6,962	7,927	5,093	5,147	5,012	3,990	2,849	99,139
	計	8,278	8,608	8,987	9,302	9,098	9,205	11,035	12,332	13,357	11,765	11,439	12,455	13,907	15,569	9,411	8,873	8,080	5,858	3,662	191,221
旧河原町全体	男	112	113	145	150	160	138	181	213	208	188	195	266	296	364	187	168	161	103	48	3,396
	女	109	140	131	151	136	152	172	167	190	171	200	277	273	334	188	246	281	213	198	3,729
	計	221	253	276	301	296	290	353	380	398	359	395	543	569	698	375	414	442	316	246	7,125
河原地区	男	50	42	60	67	63	48	64	91	81	71	84	89	91	111	51	52	50	26	11	1,202
	女	42	64	57	63	54	62	73	65	84	80	81	85	90	105	57	80	79	38	54	1,313
	計	92	106	117	130	117	110	137	156	165	151	165	174	181	216	108	132	129	64	65	2,515
国英地区	男	12	21	24	18	31	23	32	31	30	27	31	39	44	64	32	22	33	25	6	545
	女	24	27	17	18	20	22	32	28	28	22	35	42	45	53	31	42	54	64	56	660
	計	36	48	41	36	51	45	64	59	58	49	66	81	89	117	63	64	87	89	62	1,205
八上地区	男	9	7	9	9	14	13	13	15	23	18	18	25	31	34	24	15	8	11	6	302
	女	12	6	6	12	19	11	16	12	10	13	18	23	24	34	20	19	23	20	15	313
	計	21	13	15	21	33	24	29	27	33	31	36	48	55	68	44	34	31	31	21	615
散岐地区	男	30	28	32	32	34	26	39	45	41	43	41	64	74	88	41	32	32	22	9	753
	女	20	26	29	31	25	37	32	36	38	36	35	69	62	78	42	51	60	47	36	790
	計	50	54	61	63	59	63	71	81	79	79	76	133	136	166	83	83	92	69	45	1,543
西郷地区	男	11	15	20	24	18	28	33	31	33	29	21	49	56	67	39	47	38	19	16	594
	女	11	17	22	27	18	20	19	26	30	20	31	58	52	64	38	54	65	44	37	653
	計	22	32	42	51	36	48	52	57	63	49	52	107	108	131	77	101	103	63	53	1,247

3



## 1. 鳥取市 - ①

●現在の年齢構成 (2016年住民基本台帳)



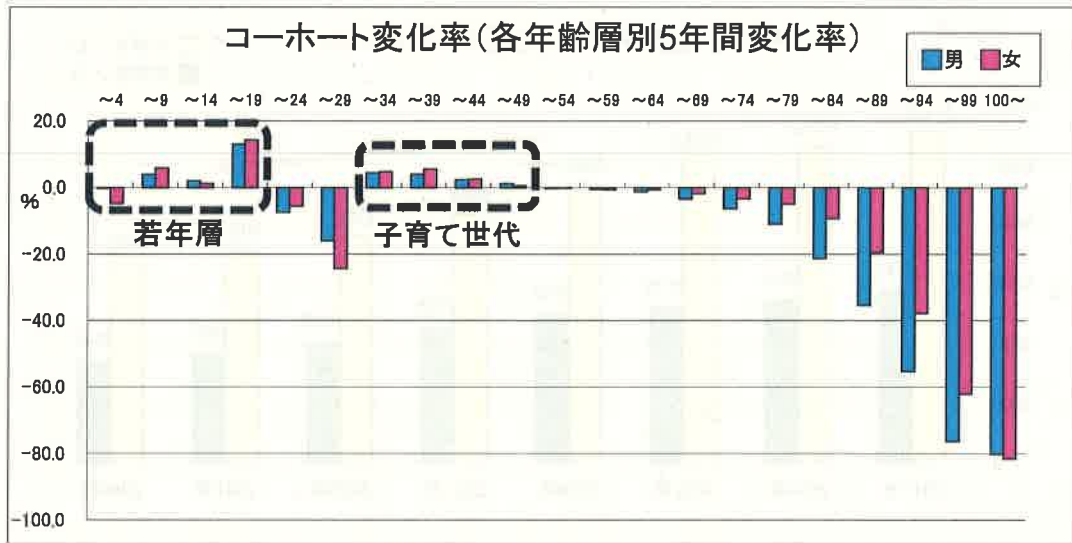
人口191,221人、高齢化率26.9%  
鳥取市全体では、子育て世代も多く安定した形状

4



# 1. 鳥取市 - ②

## ● 年齢階層別の人口増減率 (2011-16年住民基本台帳)

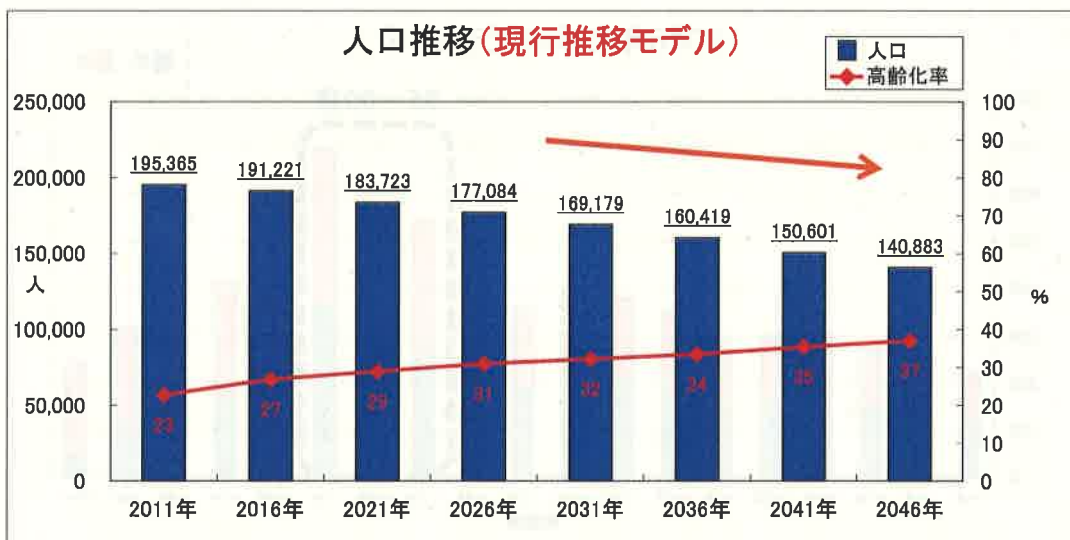


若年層も多く、子育て世代の取り戻しができている  
高校生が周辺から集まり、大学進学等で流出



# 1. 鳥取市 - ③

## ● 今後の人口予測 (2011-16年住民基本台帳)



人口は微減していき、高齢化率が徐々に向上  
周辺市町村と比較すると緩やかな傾向

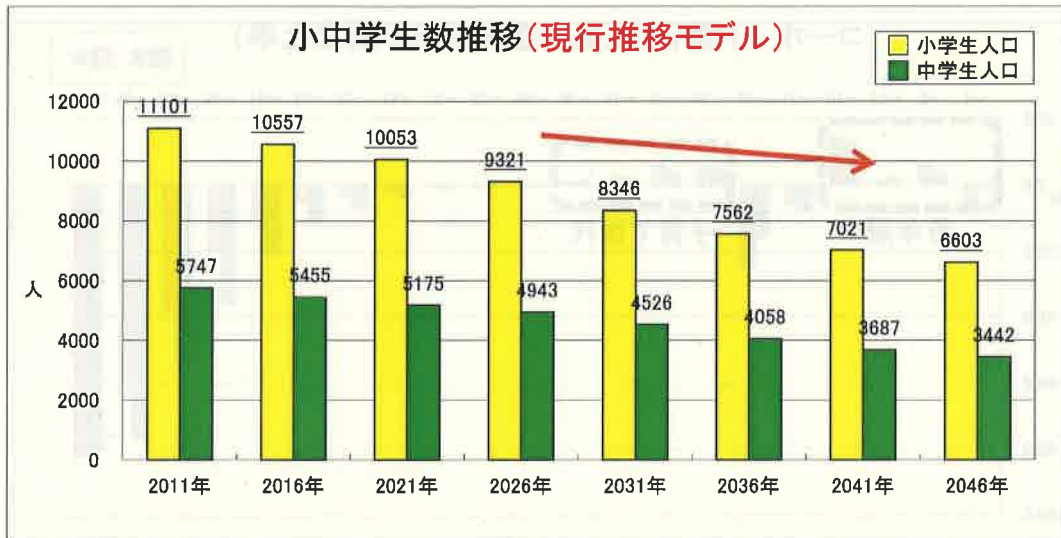


# 1. 鳥取市 - ④

鳥取市 - ④



## ● 今後の小中学生数予測 (2011-16年住民基本台帳)



総人口と比較すると減少幅が大きいものの、長期的には微減が続いて、安定して水位

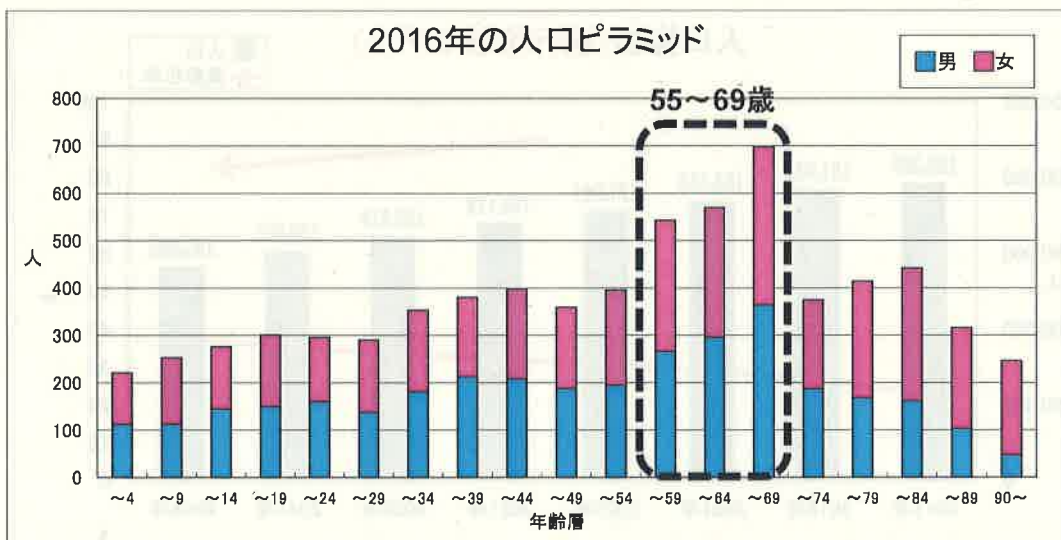


# 2. 旧河原町 - ①

鳥取市 - ①



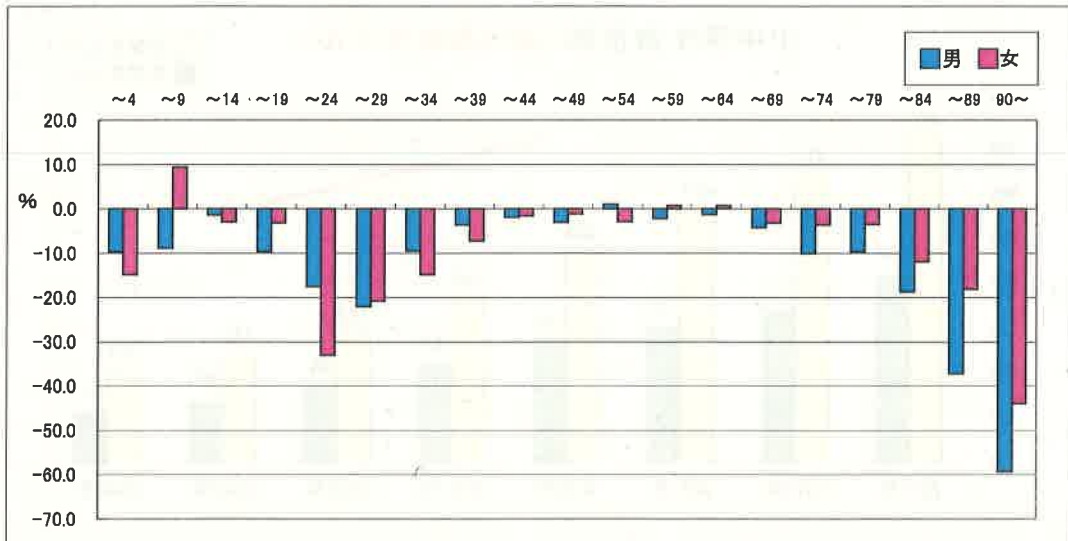
## ● 現在の年齢構成 (2016年住民基本台帳)



土向ニハ命ハ事ハ高シキトテ、新婦ト人口人  
向謝スルハ事ハ高シキトテ、新婦ト人口人

## ○ 2. 旧河原町 - ②

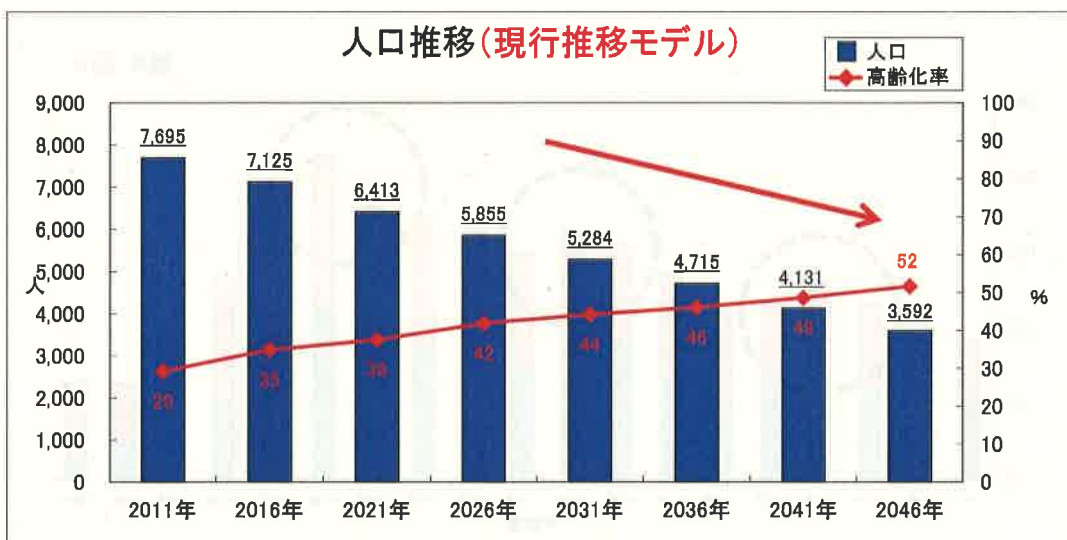
### ● 年齢階層別の人口増減率 (2011-16年住民基本台帳)



進学等による流出とともに子育て世代の流出が多く、  
人口の取り戻しができていない

## ○ 2. 旧河原町 - ③

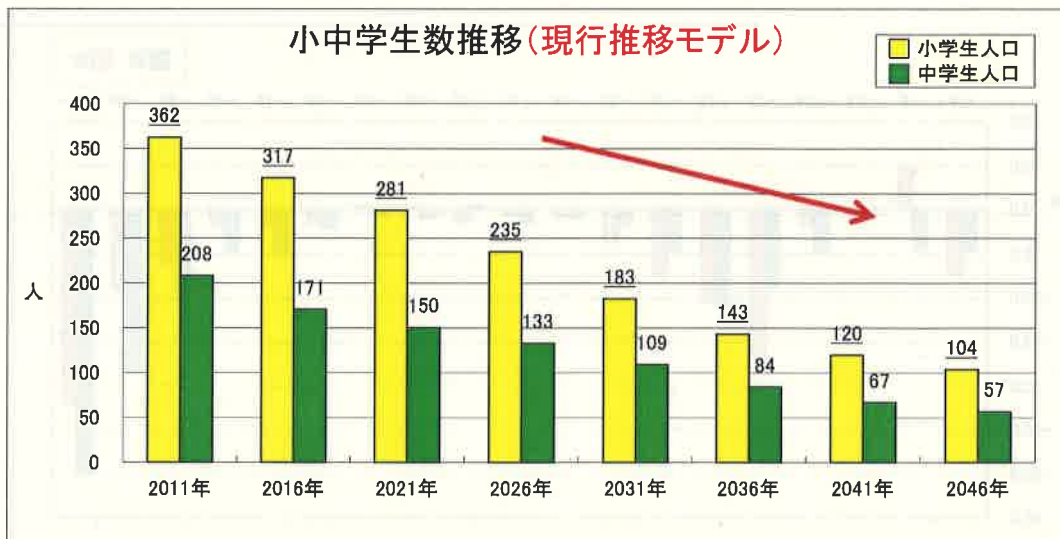
### ● 今後の人口予測 (2011-16年住民基本台帳)



現行推移が継続すると、30年後には人口が半減  
高齢化率も2040年代には50%を突破

## ○ 2. 旧河原町 - ④

### ● 今後の小中学生数予測 (2011-16年住民基本台帳)

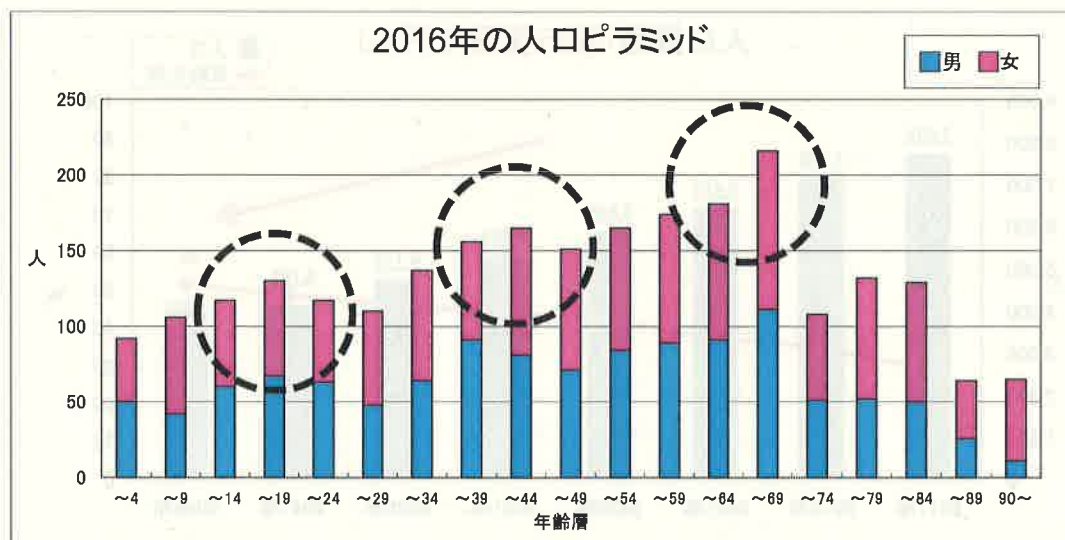


小中学生は加速度的に減少、30年後には1/3更なる学校の統廃合が進んでしまう可能性もある

11

## ○ 3 - 1. 河原地区 - ①

### ● 現在の年齢構成 (2016年住民基本台帳)



人口2,515人、高齢化率28.4%  
均整がとれており、人口の3コブができています(良い)

12

## 3-1. 河原地区-②

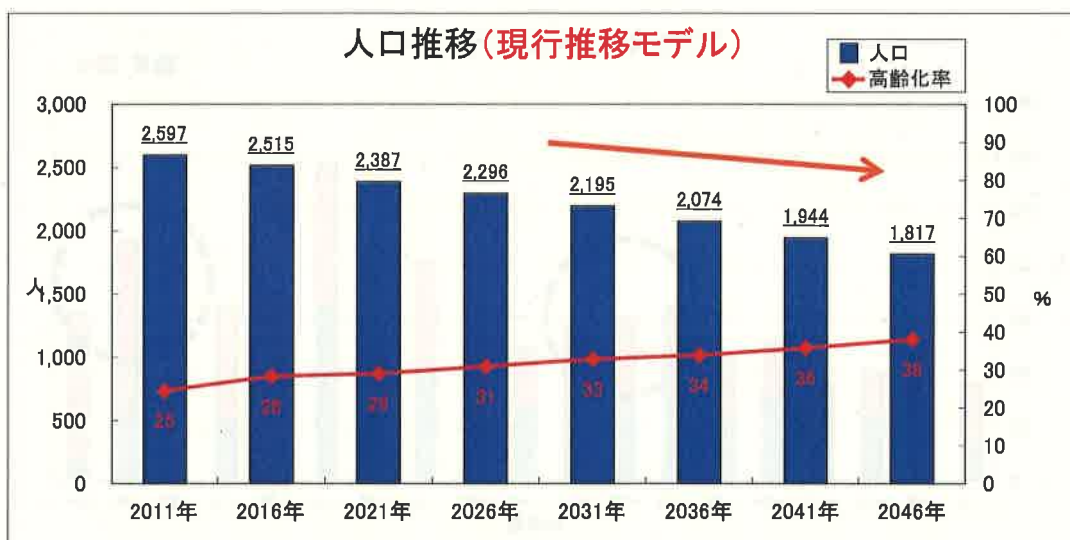
### ●年齢階層別の人口増減率 (2011-16年住民基本台帳)



子育て世代の取り戻しができているとともに、  
子どもの一部においても増加

## 3-1. 河原地区-③

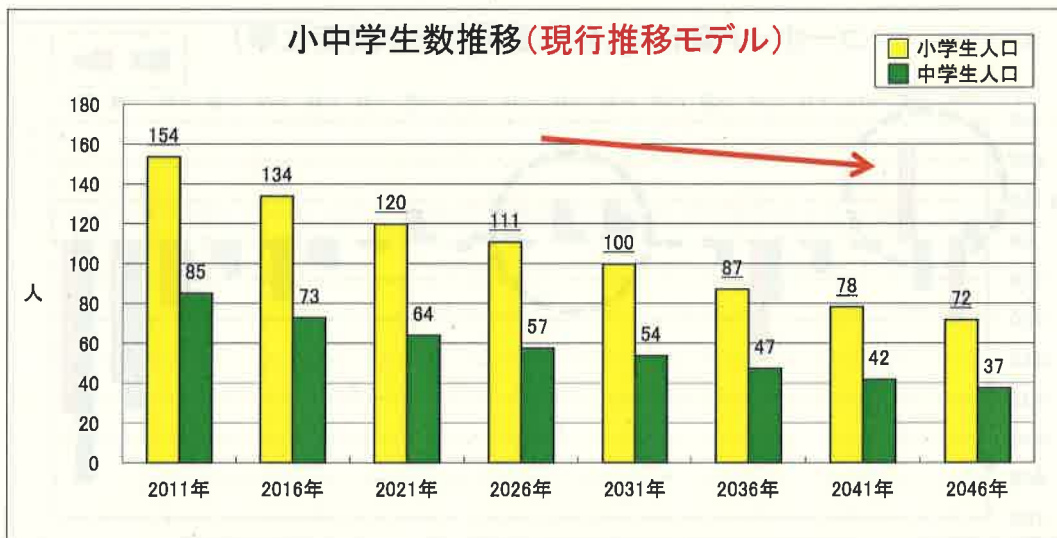
### ●今後の人口予測 (2011-16年住民基本台帳)



人口も比較的安定しており、高齢化率も微増で抑制  
鳥取市の数値と同様で、周辺地区からの移動や宅地開発

## ○ 3-1. 河原地区-④

### ● 今後の小中学生数予測 (2011-16年住民基本台帳)

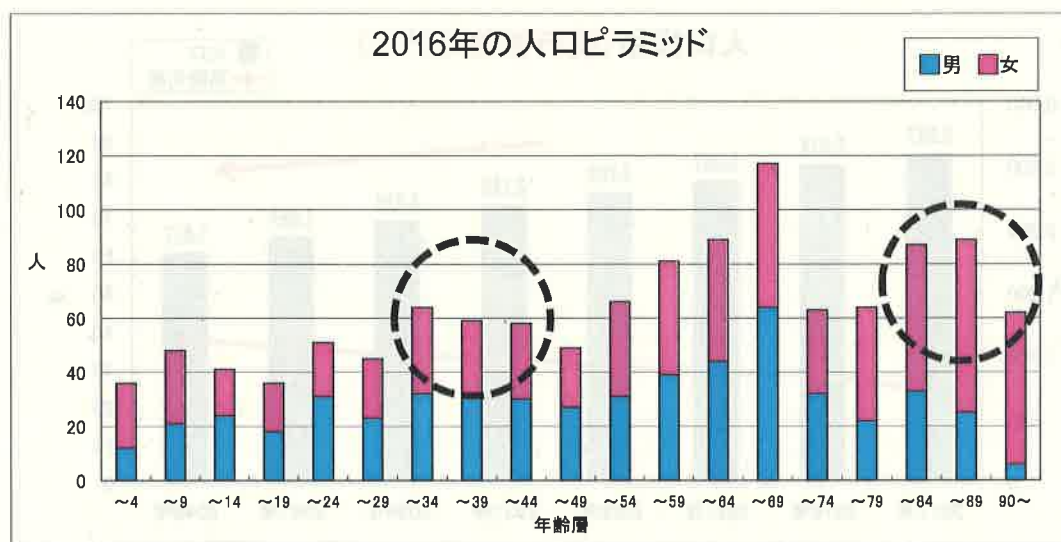


子どもの数は微減することが見込まれるが、その水位は緩やかで比較的安定している

15

## ○ 3-2. 国英地区-①

### ● 現在の年齢構成 (2016年住民基本台帳)



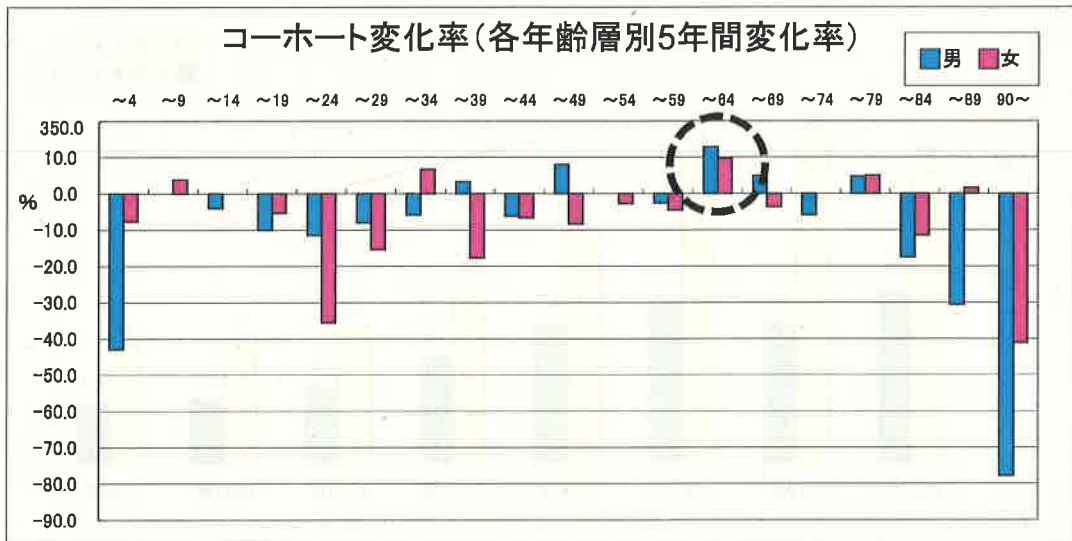
人口1,205人、高齢化率40.0%  
高齢者施設もあり、高齢化率はやや高め

16



## 3 - 2. 国英地区 - ②

### ● 年齢階層別の人口増減率 (2011-16年住民基本台帳)

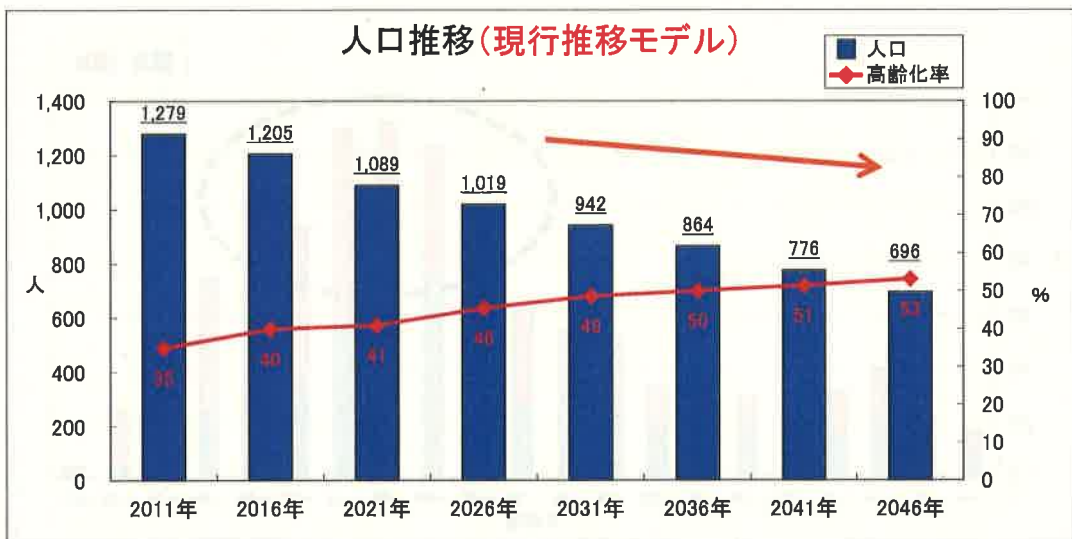


60代で定年帰郷の傾向が見られる  
子育て世代の一部でも人口の取り戻し、子どもは弱い

17

## 3 - 2. 国英地区 - ③

### ● 今後の人口予測 (2011-16年住民基本台帳)

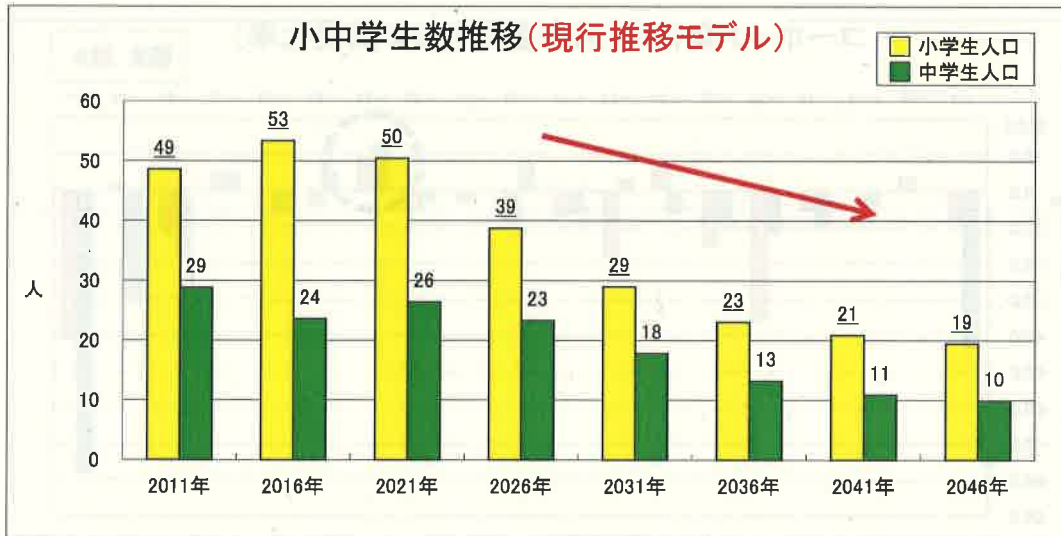


高齢者施設があることもあり、数字はそれを含めたものに  
高齢化率は上記も関係してやや高めに水位

18

## 3-2. 国英地区-④

### ●今後の小中学生数予測 (2011-16年住民基本台帳)

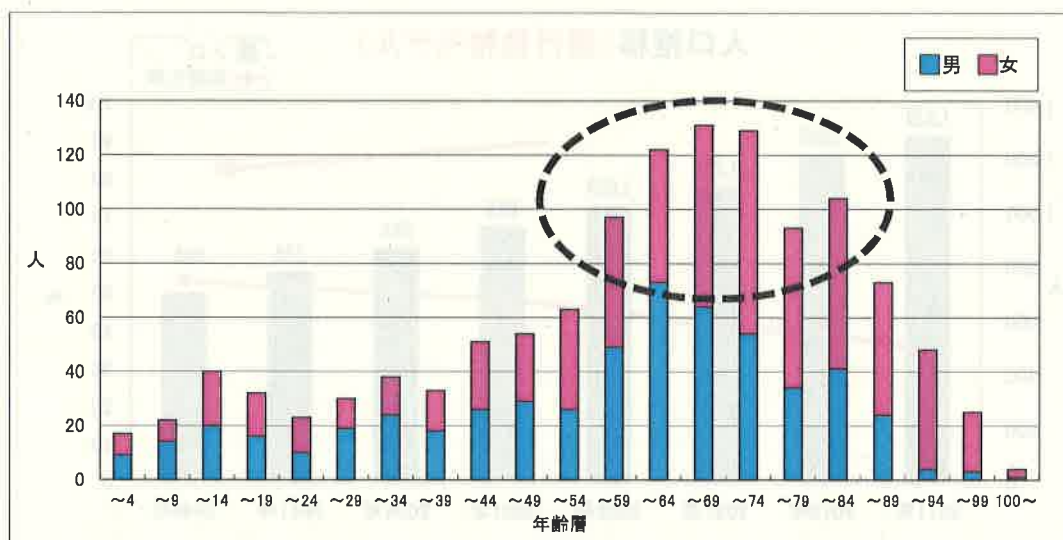


この5年で小学生数が増加しているが、  
5年後より減少に転じる

19

## 3-3. 八上地区-①

### ●現在の年齢構成 (2016年住民基本台帳)

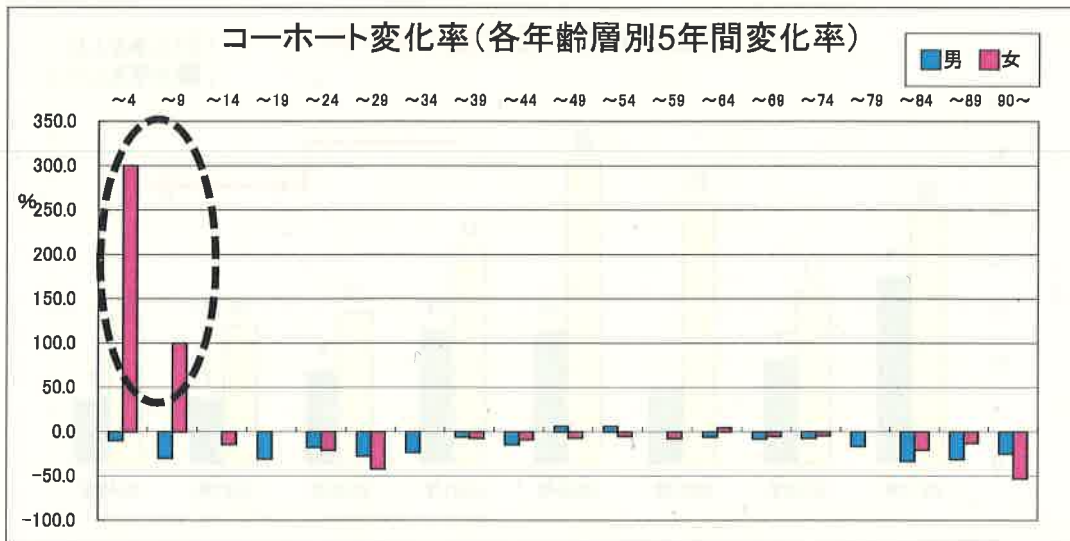


人口615人、高齢化率37.2%  
50代後半から80代前半のボリュームが他地区より高い

20

## 3-3. 八上地区-②

### ●年齢階層別の人口増減率 (2011-16年住民基本台帳)

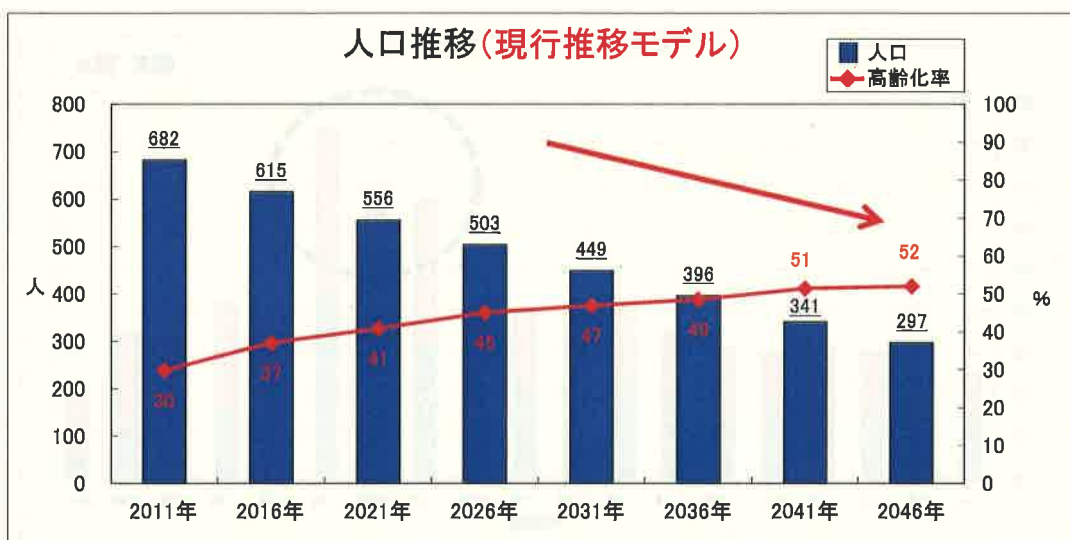


この5年間の間に女の子が急増、  
ただ子育て世代の取り戻しが見られない

21

## 3-3. 八上地区-③

### ●今後の人口予測 (2011-16年住民基本台帳)

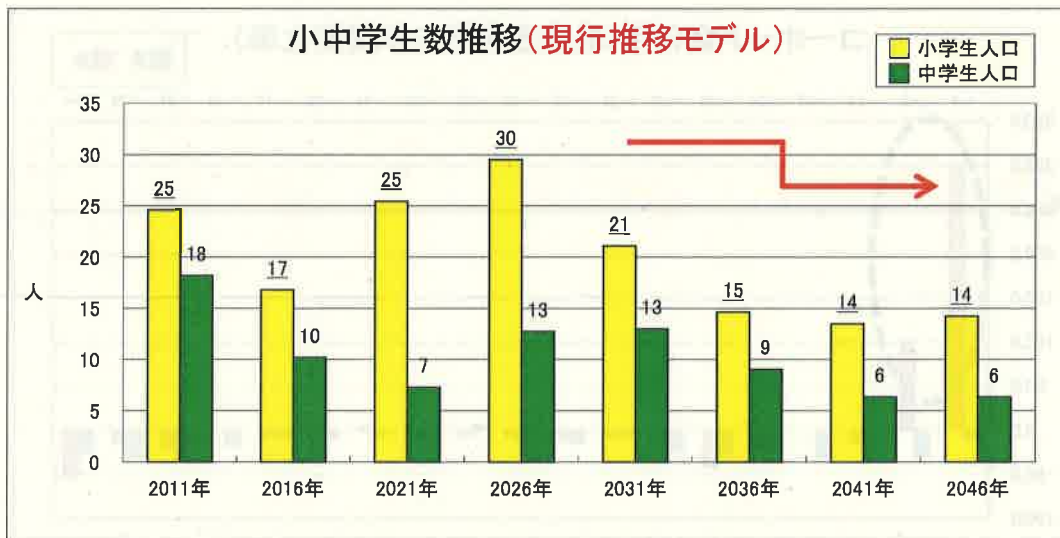


人口の減少が着実に進行、10年後には高齢化率60%突入  
20年後には約半数に減少するペース

22

## ○ 3-3. 八上地区-④

### ●今後の小中学生数予測（2011-16年住民基本台帳）

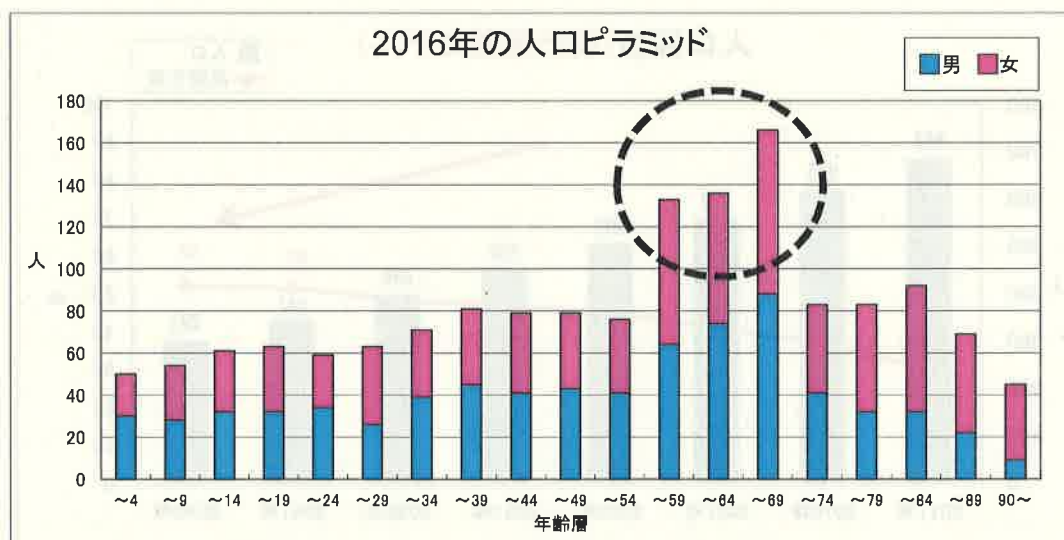


昨年は一時的に落ち込んだものの、10年後までは増加、その後は減少に転じるが、安定して推移

23

## ○ 3-4. 散岐地区-①

### ●現在の年齢構成（2016年住民基本台帳）

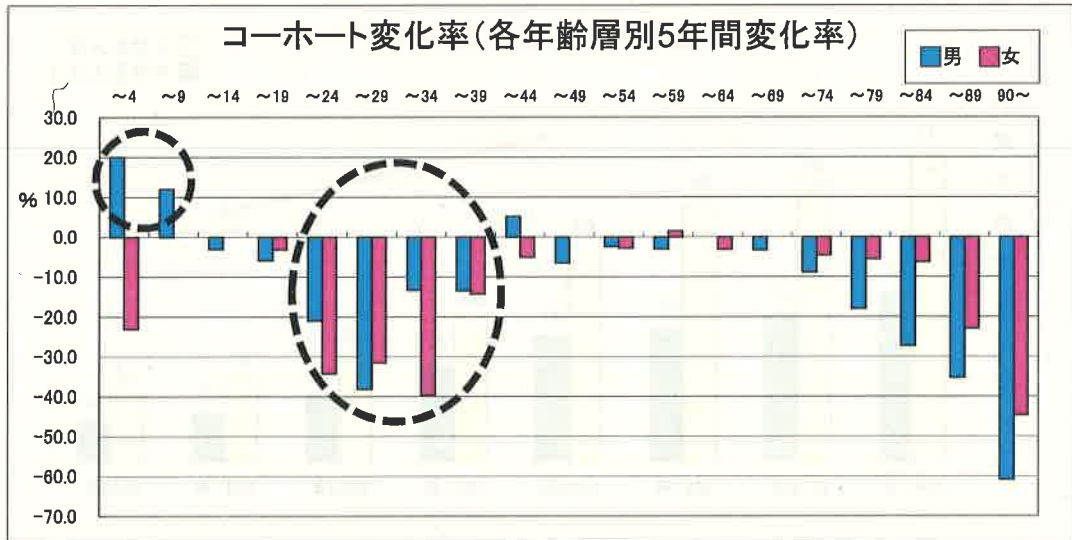


人口1,543人、高齢化率34.9%  
50代後半から60代が多く、その他年代は安定

24

## 3-4. 散岐地区-②

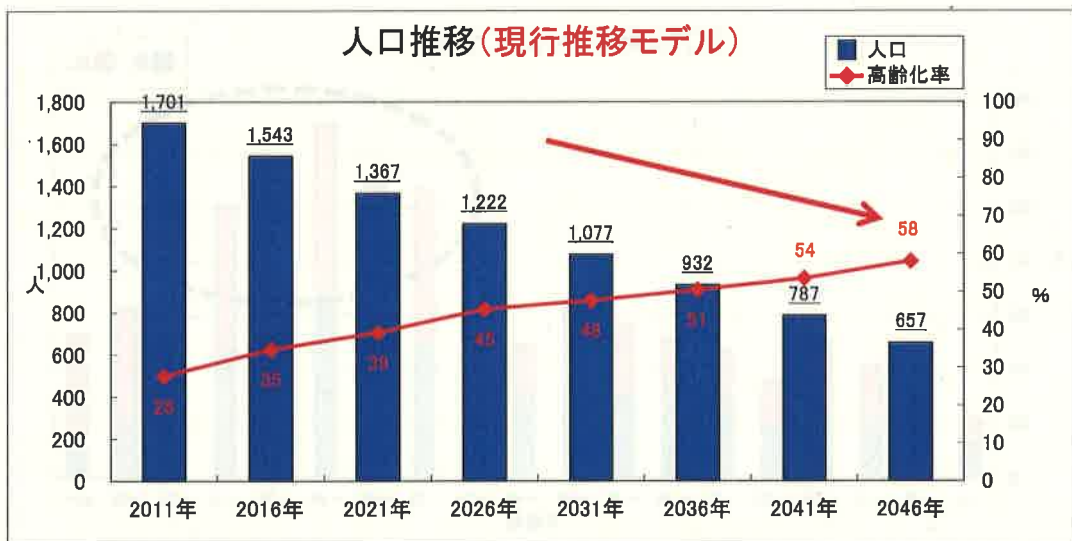
### ●年齢階層別の人口増減率 (2011-16年住民基本台帳)



20代と30代の子育て世代が多く流出している  
ただ、男の子で増加が見られる

## 3-4. 散岐地区-③

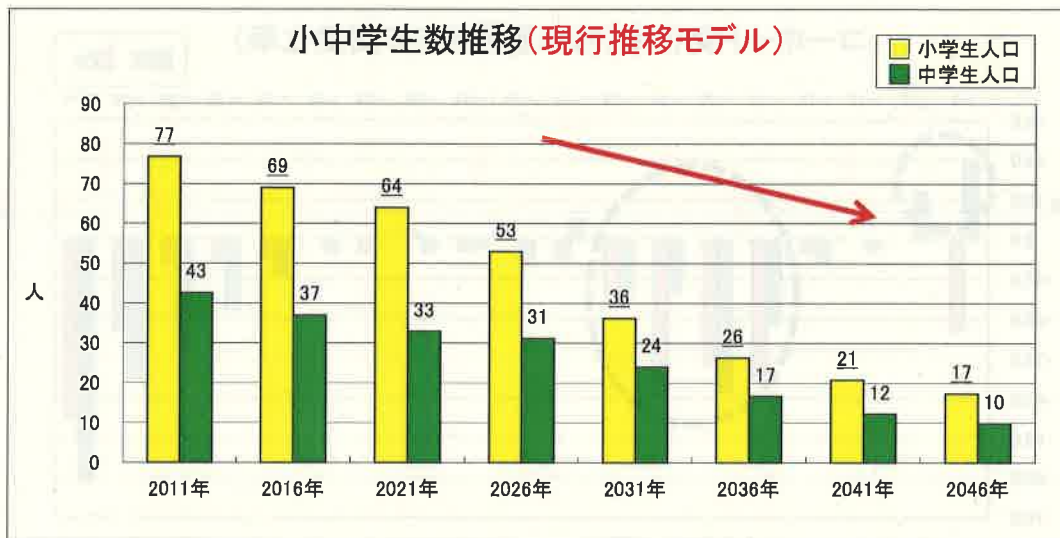
### ●今後の人口予測 (2011-16年住民基本台帳)



人口の減少が着実に進行、20年後には高齢化率50%突入  
30年後には人口が約半数に減少するペース

## 3-4. 散岐地区-④

### ●今後の小中学生数予測 (2011-16年住民基本台帳)

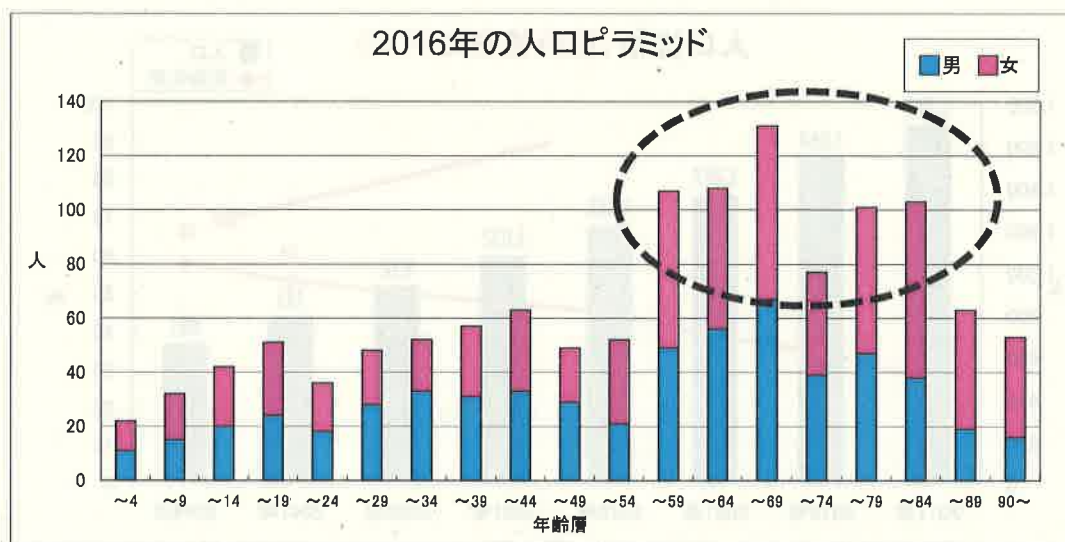


このまま減少傾向が続き、  
10年後以降には減少幅が大きくなってしまふ

27

## 3-5. 西郷地区-①

### ●現在の年齢構成 (2016年住民基本台帳)



人口1,247人、高齢化率42.3%  
50代後半以降が主力、元気なお年寄りが多くお達者度高い

28

## 3 - 5. 西郷地区 - ②

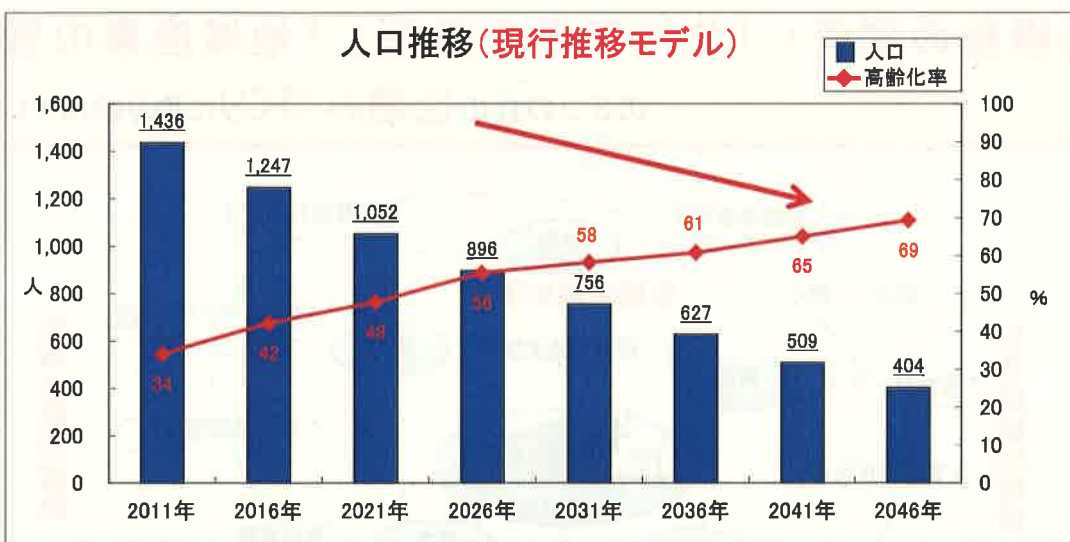
### ● 年齢階層別の人口増減率 (2011-16年住民基本台帳)



人の出入りを見ると、ほぼすべての世代で流出  
子育て世代を取り戻すことと、今いる人を流出させないこと

## 3 - 5. 西郷地区 - ③

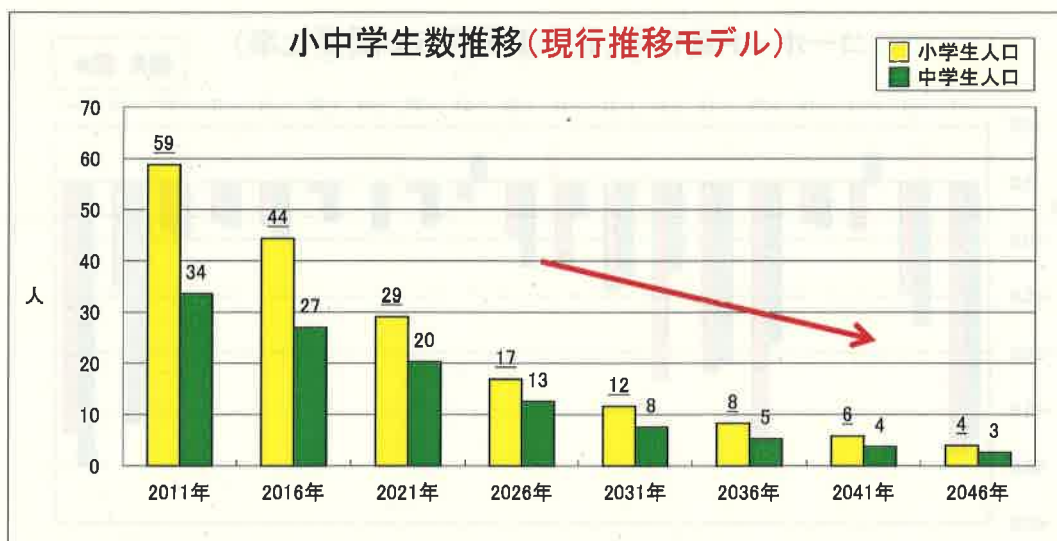
### ● 今後の人口予測 (2011-16年住民基本台帳)



現行の推移が継続すると10年後には高齢化率50%  
30年後にはそう人口が1/3まで減少する可能性もある

# 3-5. 西郷地区-④

## ●今後の小中学生数予測 (2011-16年住民基本台帳)



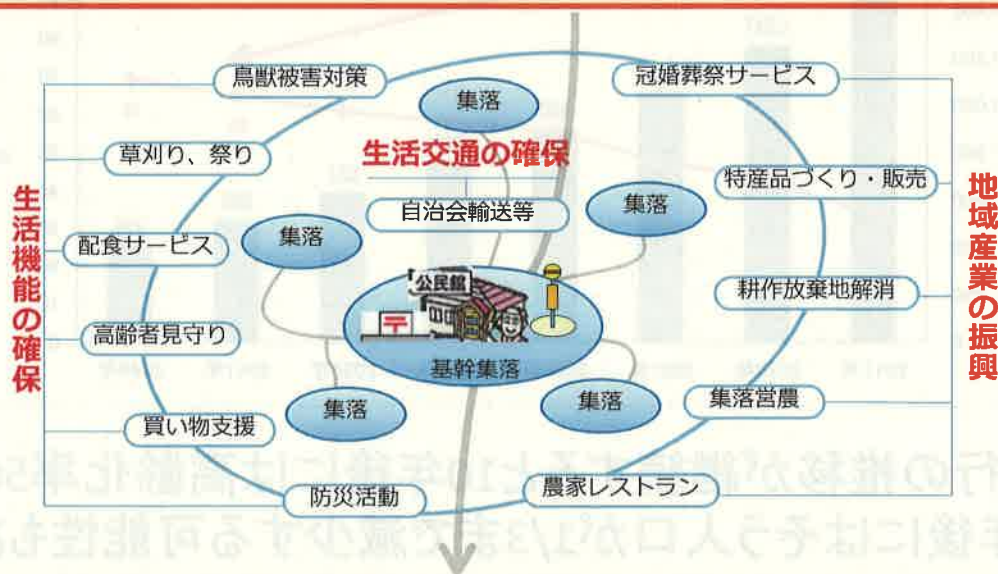
このままのペースでは小中学生数が急激に減少  
子育て世代と子どもをどのように取り戻すかがカギ

# 小さな拠点づくりとは

公民館エリア(旧小学校区)を基本とし、  
行政主導ではなく住民のみなさんの話し合いを通じて、

**「生活機能の確保」「生活交通の確保」「地域産業の振興」**

の3つの柱の**仕組みづくり**に取り組んでいくこと





## 生活機能の確保

### ① 日常生活に必要な機能・サービスの集約化

- ・ 買い物、金融、医療、介護などの生活に必要な機能・サービスを将来にわたって維持していくため、**公民館エリアの中で一定の集約化を進める**  
（「一点集中型」や「小規模・分散型」など）
- ・ 医療などの比較的大きな人口規模を必要とする場合は、より広域の複数公民館エリアの中で確保することを念頭に集約化を進める

### ② 廃校・道の駅等を活用したサービス拠点の整備

- ・ 基幹集落における機能・サービスの集約化と併せ、地域内外の交流スペースや産直市などの地域産業の活動場所として、市町村が実施する**廃校や道の駅等を活用したサービス拠点の整備を進める**

33

## 生活機能の確保（先進事例－①）

### 廃校を活用した拠点施設での買い物支援（雲南市波多地区）

#### 【何をしたの？】

- ・ 旧波多小学校を地域の活動拠点の波多交流センターとして活用
- ・ 地域唯一の商店閉鎖を受け、地域の買い物支援のため、地域住民が出資して交流センターを改修し「はたマーケット」を開設
- ・ 生鮮食品や雑貨等を販売し、更に、喫茶コーナーの設置や買い物する方の自宅送迎等を実施

#### 【どこが取り組んだの？】

- ・ 波多コミュニティ協議会

#### 【どんな効果があったの？】

- ・ 買い物弱者への支援
- ・ 高齢者が連れ添って交流センターへ集まることによるひきこもり防止、安否確認等の場としても活用



34

# 生活機能の確保（先進事例－②）

## 高齢者への配食サービス（邑南町羽須美地区）

【何をしたの？】

- ・ 独居高齢者等の在宅生活支援のため、栄養管理された弁当を配達し、併せて健康状態等を確認

【どこが取り組んだの？】

- ・ 社会福祉法人おおなん福祉会

【どんな効果があったの？】

- ・ 配食による独居高齢者等の栄養管理と健康維持
- ・ 併せて、独居高齢者等の安否確認



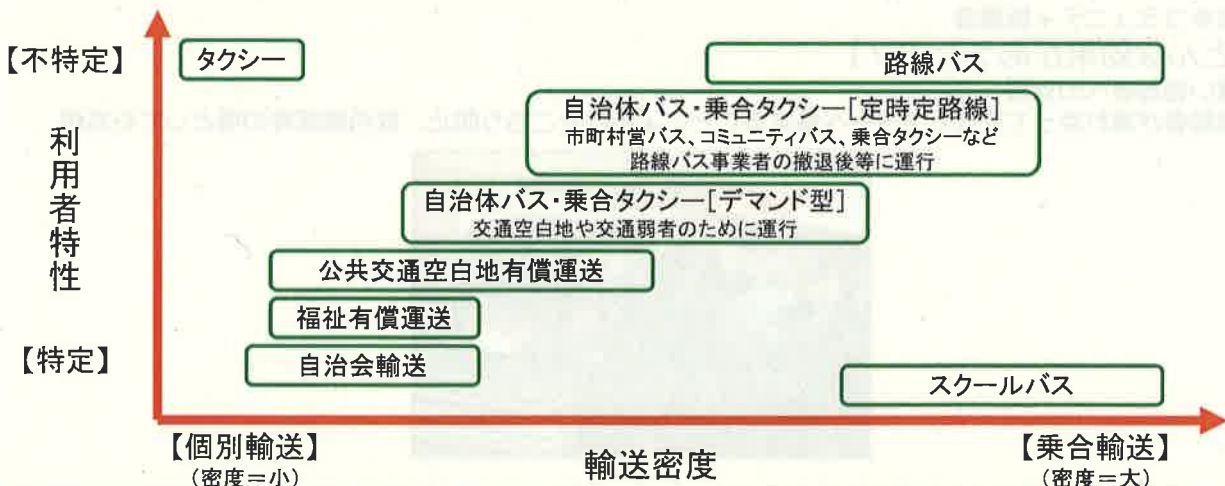
# 生活交通の確保

## ① 地域生活交通の再構築に向けた実証事業と支援制度

- ・ 平成28年度からの2年間は、地域生活交通の再構築を図るための実証事業

として、地域の人材養成（運転免許取得・講習受講）、車両購入、実証運行などの取組みに対する「立ち上がり支援」を強化

- ・ 実証事業の成果も踏まえ、幹線交通から集落間交通まで、地域の事情により選択される様々な交通手段に対する支援制度を検討



## 生活交通の確保（先進事例－①）

### NPO法人による有償のデマンドバス運行（美郷町別府地区）

【何をしたの？】

- ・ 事前登録した利用者から予約を受け、ドア・ツー・ドア（戸口から戸口へ）のデマンドバスを有償で運行
- ・ 運行エリアは、別府地区等の地域内のみ

【どこが取り組んだの？】

- ・ NPO法人別府安心ネット

【どんな効果があったの？】

- ・ 地域住民の移動手段を確保し、通院や買い物等の移動負担を軽減



37

## 生活交通の確保（先進事例－②）

### 地域による自治会輸送（飯南町谷地区）

【何をしたの？】

- ・ 飯南町が購入した車両を無償貸与し、自治会メンバーがボランティアで運転を行う
- ・ 利用者は、燃料費相当を実費として負担
- ・ 運行エリアは、地区内と赤名地区にある金融機関、開業医などの特定の場所

【どこが取り組んだの？】

- ・ 谷自治振興会

【どんな効果があったの？】

- ・ 高齢者の移動手段の確保
- ・ 住民ニーズを踏まえて、運行範囲を延長し、利用者の利便性を向上



38

## ○ 地域産業の振興

### ① 農林水産業の振興と担い手の確保

- ・ 中山間地域の産業の基盤である農林水産業の振興や半農半Xなどの支援強化による担い手の確保を進める

### ② 地域資源を活用した産業振興

- ・ 特産品のパッケージデザインや販路開拓等に精通した民間専門家を派遣し、コミュニティビジネスの事業化に向けた取組を強化

### ③ 域内調達と事業の複合化（合わせ技）の仕組みづくり

- ・ 中山間地域には豊かな資源があり、これらを活用した産業を興し、その収入が地域内での消費活動へつながる仕組みづくりを進める
- ・ 単体の事業では収益性や雇用力が十分でない場合でも、合わせ技により一定の雇用に結びつける仕組みづくりを進める

39

## ○ 地域産業の振興（先進事例－①）

### 多様な主体の連携による産業振興（邑南町出羽地区）

#### 【何をしたの？】

- ・ 出羽自治会が、定住に向けた環境づくりのための空き家を改修
- ・ LLC出羽は、空き家所有者との条件交渉、定住希望者とのマッチング、情報発信、住宅管理業務等を受託し、賃貸住宅経営を展開

#### 【どこが取り組んだの？】

- ・ 出羽自治会
- ・ LLC出羽（農作業受託などの収益事業を担う合同会社）

#### 【どんな効果があったの？】

- ・ LLC出羽の設立により、収益事業、空き家対策等の実働部隊として、機動的な対応が可能



40

## ○ 地域産業の振興（先進事例－②）

### 地域資源を活用した特産品開発（浜田市美又地区）

#### 【何をしたの？】

- ・ 黒米、黒大豆を活用した商品の改良（黒米焼酎のパッケージ改良、ミニボトル商品化など）
- ・ 菓子店の技術協力を得て、おから加工品（惣菜・菓子など）の商品化

#### 【どこが取り組んだの？】

- ・ NPO法人美又ゆめエイト

#### 【どんな効果があったの？】

- ・ 商品の改良等に伴い、新たな販路・購買層の獲得を図り6次産業化を推進



41

## ○ 地域を支える人づくり

### ① 学校・家庭・地域の連携協力による教育の充実

- ・ ふるさとへの愛着や誇りを高めための「ふるさと教育」を推進
- ・ 地域課題の解決を図ろうとする公民館を支援

### ② 公民館等（社会教育）と連携した、住民同士の話し合いの場づくり

- ・ 地域づくりに意欲のある住民や団体が集う公民館等において、学び合いを通じた「話し合いの場」を創出

### ③ 地域づくり人材の発掘・育成

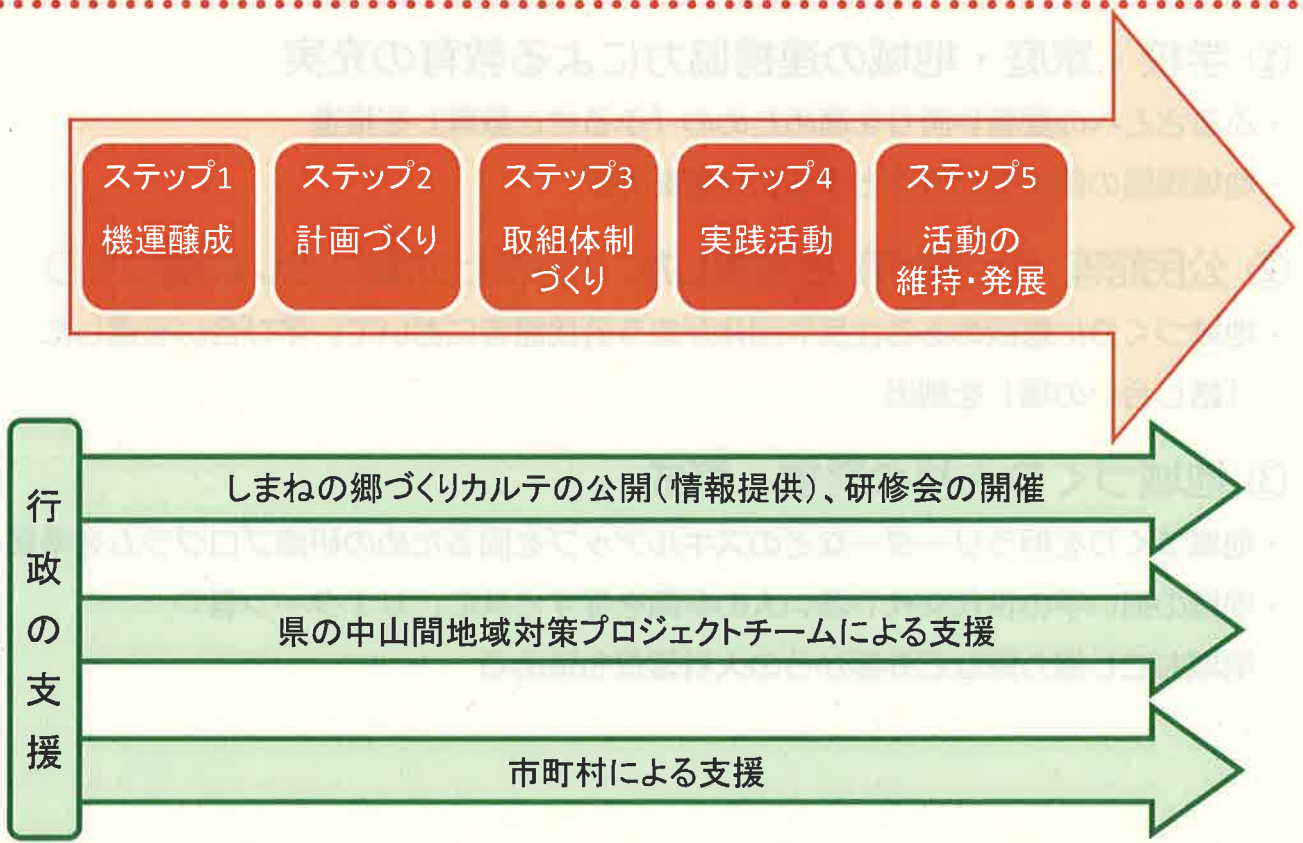
- ・ 地域づくりを担うリーダーなどのスキルアップを図るための研修プログラムを準備
- ・ 地域の担い手の世代交代や若い人の参画を促すと共に、UIターン者や地域おこし協力隊など外部からの人材確保も進める

42

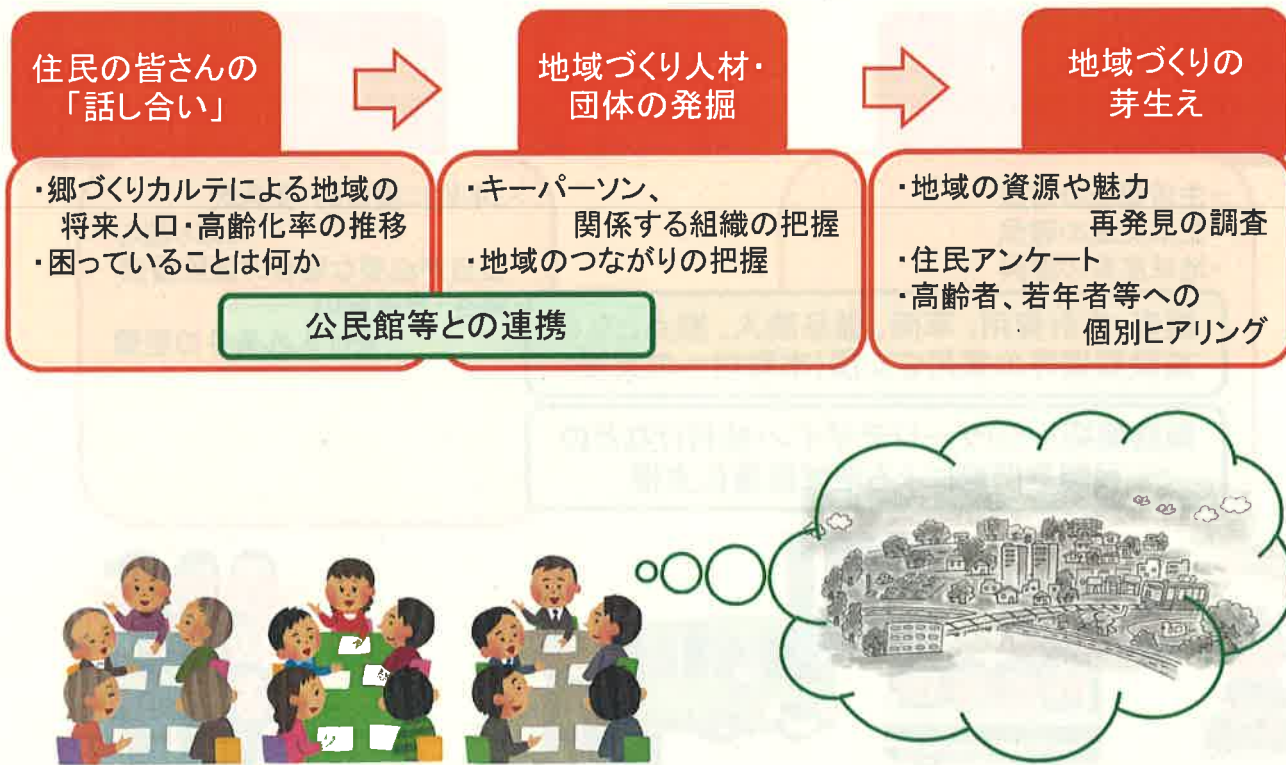
# ○ 教育は礎（土台）



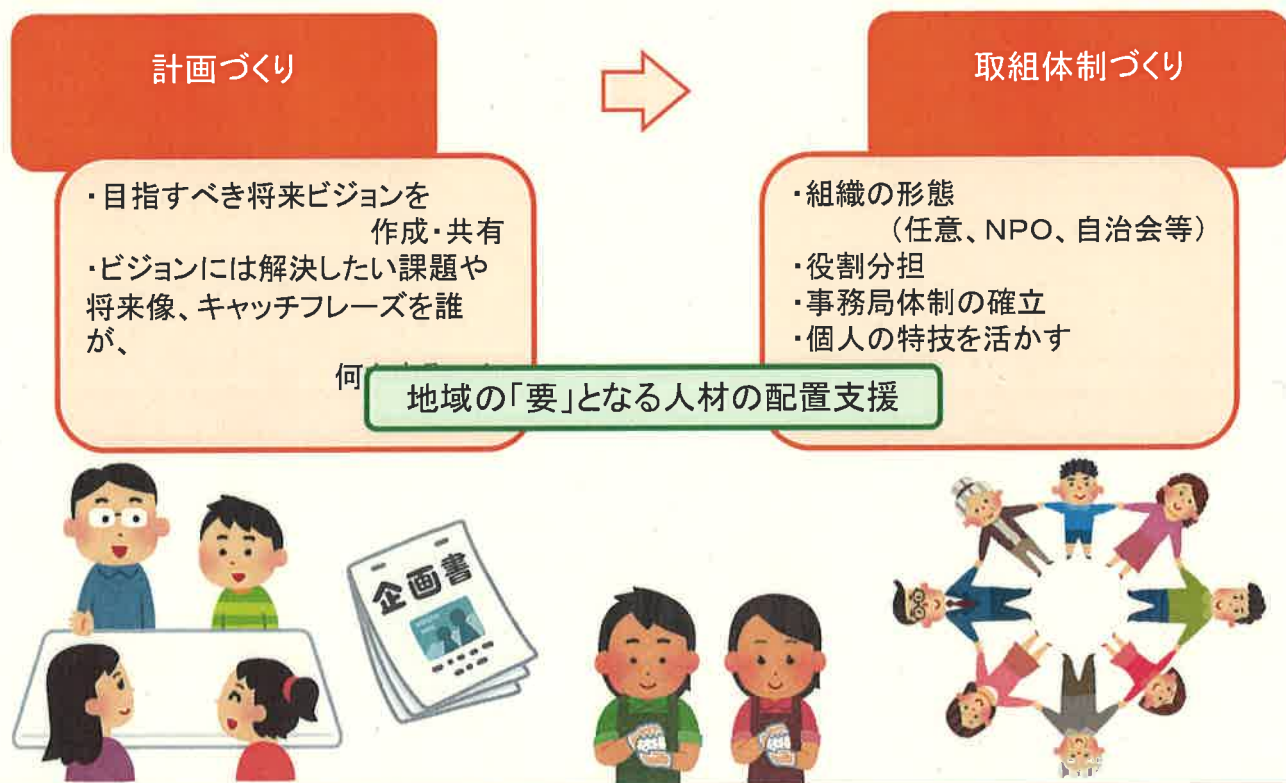
# ○ 「小さな拠点づくり」のステップ



# ① 機運醸成



# ② 計画づくり → ③ 取組体制づくり



# ④ 実践活動 → ⑤ 活動の維持・発展

## 実践活動(3本柱)

- ・生活機能の確保
- ・生活交通の確保
- ・地域産業の振興

調査・検討費用、車両、備品購入、拠点となる施設整備等の費用を支援(市町村への支援)

販路開拓・パッケージデザイン・味付けなどの民間専門家による地域産業化支援

## 活動の維持・発展

- ・3本柱に複合的・多角的に取り組む
- ・拠点が必要な場合の施設整備
- ・移住・定住者の受け入れ条件の整備



# ④ 実践活動 ← ⑤ 活動の維持・発展

④ 実践活動  
 ⑤ 活動の維持・発展  
 ④ 実践活動  
 ⑤ 活動の維持・発展

④ 実践活動  
 ⑤ 活動の維持・発展  
 ④ 実践活動  
 ⑤ 活動の維持・発展

④ 実践活動 ← ⑤ 活動の維持・発展

